

様式第3号

会 議 録

会 議 名 (審 議 会 等 名)	第3回 川西市青少年問題協議会		
事 務 局 (担 当 課)	生涯学習部 人権・地域教育推進室 内線(3441)		
開 催 日 時	平成18年3月20日(火)午後10時30分～午後12時		
開 催 場 所	市役所 4階 庁議室		
出 席 者	委 員	柴生進、堀田啓子、村木修、多久和桂子、鴨川俊行、古谷茂樹、坂上健二、上田恵子、秋田修一、木田幾子、澁野敏彦、佐渡進三、宮路尊士、佐伯直樹	
	事務局	生涯学習部長小山 万二、人権・地域教育推進室長 玉邑 一夫 地域教育推進担当主幹 村岡 直樹、主査 羽瀬克彦、升村誠志	
傍聴の可否	○可・不可・一部不可	傍聴者数	0人
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由			
会 議 次 第	1. 開会 2. 委員の委嘱、新委員あいさつ 3. 会長あいさつ 4. 協議事項 (1) 平成18年川西市青少年育成フォーラム報告 (2) 青少年の表彰に関する確認事項について 5. 意見交換 6. その他 7. 閉会		
会 議 結 果	4. 協議事項 (1) 了承 (2) 事務局(案)で了承 5. 意見交換 (1) 各団体の青少年育成への取り組み (2) その他、意見交流		

審 議 経 過

1. 開会

2. 委員の委嘱

委嘱者 社団法人川西青年会議所副理事長 坂上 健二 様

3. 会長あいさつ

4. 協議事項

(委員より報告)

(1)平成18年川西市青少年フォーラム報告

アンケート集計より

今後の課題から

(委員)私も舞台に立たせていただきまして、色々な経験をさせていただきました。

PTA との兼ね合いと言うのが課題だということですが、ちょうどこの翌週に PTCA フォーラムと言うのがあり、そちらの方には完全動員で850人ぐらいの観衆がいるのですが、その辺の調整と言うのが課題であると思うんですが、青少年フォーラムの一週前に PTCA フォーラムをして、そのときに青少年フォーラムのチラシなども配布しようと考えています。一緒にするとなるとすごく長時間にわたる会になるのでその辺の調整で、何とかしていきたいなあと考えています。せっかくいいフォーラムになったのだから、もっともっとたくさんの人にきていただきたいと考えています。

(委員)私自身もいい経験をさせていただきました。ありがとうございました。子どもとコミュニケーションをとることを日頃から心がけてはいるものの、どうしても感情的になってしまいますし、自分の子どもと同じ年代の他のお子さんとお話できたのはすごくよかったなあと思います。それと、私が明峰の子ども会で一緒にドッジボールをした子どもが実行委員としてきてくれていて、思わず自分の娘のように興奮してしまったのですが、子どもたちと関わっていくと言うことが大事だなあと思いました。今後もこのような活動を続けていただけていながらお手伝いさせていただきたいと思います。

(会長)今の意見を踏まえてまた事務局の方で調整の方をお願いします。

(2) 青少年の表彰に関する確認事項について

(事務局より) 青少年の表彰に関する確認事項提案

(委員)同じ団体で毎年メンバーは変わるけれど、同じような活動をして表彰を受けていく団体や、ボーイやガールのように活動の内容の中に表彰に値するような内容を含んでいる団体が表彰される場合にはもう少しハードルを高くしてもいいと思います。

選考委員会で一つクッションをおくと言うことで、ちょっとした誤解が無く調整できるのではないかと思います。学校などは2, 3年はあけてご推薦いただけたらいいと思います。

(委員) 一つ PTA からお願いがあるんですが、単位 PTA の方と PTA 联合会の方と両方青少年の表彰の御照会をいただいているので、その一本化をしていただきたいと思います。そうすればさらに調正がはかれるのではないかと考えています。

5. 意見交換

(1) 各団体の青少年育成への取り組み

(委員) 青少年健全育成の取り組みといたしましては、レガッタ大会の中で昨年は青少年を対象に、川西の自然環境に触れるという趣旨で行ないました。本年度は同じ一庫ダムと言う地で日本 JC の教育プログラムの中のふるさとの宝物を見つけるという趣旨で川西の一庫ダムの水に対する意識を高める活動をしています。

(委員) 地域を回っていて、最近私が気になるのは、町で子どもの声がしないということです。犯罪についてはある程度治まっていると言うことがあります。

(委員) 今のところ、暴力団関係のほうも暴対法のこともありますし、どうこうということは起こっておりません。今動けば、暴対法が適用されて立場が悪くなることはわかっている所以他们も動いていません。この間に防犯意識をあげていきたいなあと考えています。

(委員) 今、学校安全協力隊が方々で活動していますが、地域であがっているのが PTA 見回り隊というものがあって、自転車で回っているんですが、その自転車の PTA のシールをはった自転車がとめたらいけないようなところに止めているということがあって、そのうちパチンコ屋の前に並ぶのではないかという話もあります。だれでもシールをつけていいものなのかと言う話が出ており、マナーを守る人に活動して欲しいということがあります。地域の方と防犯協会などの連携ということも課題であると思います。

(委員) 本当に最近子どもの声がしません。団地などでも子どもがいるのかなあと言うくらいに静かでとても淋しい気がします。

(委員) 大和で紙芝居の会をやったんですが、そのときはたくさん子どもが集まって、「大和にこんなに子どもがおったんか」と言う感じでした。それだけ日頃子どもの姿を見ません。

(委員) 学校としましては、普段から地域・団体の皆様には安全についても色々ご協力いただきましてありがとうございます。特にトライやるウィークでは大変お世話になりました。本当に大きなリスクを被りながら、一週間地域の方々にお世話になりましたありがとうございます。学校としての一番の課題は地域の方々には色々とお借りするんだけど、なかなか地域の意見を受け入れないという体質があると思います。もちろん学校評議員制度なども充実するんですが、心の問題として、学校の意思決定を関係諸団体や地域の方々の意見を参考にして行なっていくという文化をこれからもっともっと作り上げていく必要があると思います。やはり力を借りるだけではなくて、頭脳も借りると言うことをしていかなければいけないと思います。

(委員) 今卒業のシーズンですが、卒業は新しい出発だと言う意識が大切で青少年に絶えず新しいことにチャレンジする意識を持って欲しいと思います。

(委員) 私は少年院など更正施設に関わっていますが、最近の青少年の犯罪でもいろいろと重大な事例が起こっているのですが、なかなか施設を出ても青少年の更正が根付かないと言うのはありまして、仕事をさせることで自分の生活を少しでも自分でまかなえることができればと思うんですが、なかなかうまくいきません。警察のごやっかいになった子どもを更正させるのも大切なんですが、やはり警察のご厄介にならない子どもを作り出すことが大切ではないかと思っています。

(委員) 安心安全に過ごしにくい状況の中で、各地域の方々が子どもを守る活動をされていることはありがたいことだと思いますが、その半面、子どもが学校の校庭や体育館など一定の保護されたスペースでしか遊べないのが残念に思います。決まったところで何か、子どもが育つ場作りができないかという思いがあります。私の子どもの頃の思い出で、大きな公園で大きなスクリーンを立てて映画を見た覚えがあります。そんなことも含めて子どもの育つ場作りを考えていきたいと思っています。

(委員) 今日私が強く思ったのは青少年と言うときの対象はいったい誰なんだろうと言うことです。我々大人は、対象は誰で、そこにどういった問題があるのだろうかと言うことに無頓着ではないかと思っています。学校の中には不登校の子どももいるし、そのような子どもたちの日々の生活がいったいどのようになっているのかをきめこまやかに把握して、我々大人が、その細やかさの中で何かできることはないかを見つけていく必要があるのかなあと思います。見えないところで子どもたちがいろんな矛盾を抱えて生きていると言うことに目を向けていきたいと思っています。

(委員) こういった連携は本当に大事だと思います。行政内の連携も大切だと思います。

(委員) 私は青少年育成市民会議の部長をしていたんですけれども、各中学校区にそれはあって、子どもの支援、声かけパトロールなどに取り組んでいます。それでうれしかったのは学校安全協力委員の方が予想を越えた人数の方の登録があって、とてもありがたいと思いました。問題行動をおこしている子どもの事例を見ると、家庭教育の時代から悪い子どもというレッテルをはられているなどの事例に出会います。家庭教育が問題であると思います。普通に「早ね早起き」と「三度の御飯を食べる」と言うことが大切だと思います。親が夜コンビニなどに連れて行って、眠れないとか、出きあいのものを食べているとか等のことがとても心配です。子育ての基本を見直していく必要があると思います。

6. その他

(事務局より) 愛護条例改正内容

「ふれあい」(配布物)

18年度の青少年問題協議会の内容についての確認

7. 閉会